



不経済学部も無事に卒業す

遠藤真太郎

どんな学部に入學しようと学費に見合う知識や技能を身につけてくれないと親にとっては全て「不経済学部」である。まあ卒業しただけですか。



欠伸出て春のデートはジ・エンド

竹下和宏

何気ない仕種に人間の深層心理は現れる。楽しさを装っても、言葉をどんなに飾っても、欠伸一つで本音が明らかに。この度は、ご愁傷様でした。



蜃気楼見かけ以上の安普請

小林英昭

しょせん蜃気楼だから期待はしていなかったが、思った以上にひどいね、こりゃ。ふにゃふにゃして耐震構造にもなっていない。全くの安普請よ。



風花は冥土の文の書き損じ

南とんぼ

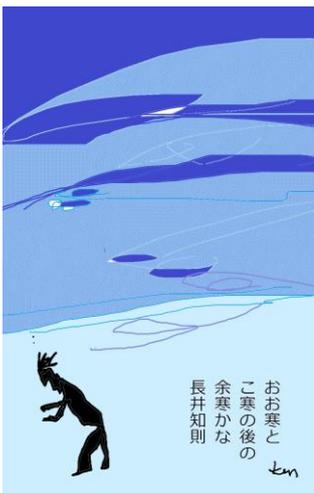
晴れているのに風に乗って降る雪を風花という。この雪は、あの世の方達が書き損じた手紙をちぎったものなのだ。ひらめきに詩と説得力がある。



振り出しに戻る話や初電話

月城花風

結論の無い無駄話ほど楽しいものはない。初電話の話の中身もくだらないものほど良いが、電話を切るタイミングが永遠に来ないのが難点。



おお寒とこ寒の後の余寒かな

長井知則

経過を踏まえつつ現在の春の寒さを詠んでいる。「寒」の文字を重ねて楽しい句になった。言葉遊びは滑稽俳句の基本の一つでもある。